

学位授与の方針（大学院）

（1） 工学研究科修士課程

機械工学専攻

下記の能力を備え、機械工学分野において高度で専門的な技術者として認められる者に学位を授与する。

- ・ 機械工学における高い専門知識を活かして機械および機械システムを総合的に捉え、課題解決ができる。
- ・ 機械工学の知識を有し、設計・製作・解析・評価・管理を行うことができる。
- ・ 先端技術を理解し、新技術に関して興味を持ち続けることができる。
- ・ グローバルな視点に立って幅広い知識を修得できる。
- ・ 人間性に優れ、柔軟な発想とリーダーシップを発揮して問題を解決できる。

電気・電子工学専攻

下記の能力を備え、電気電子工学分野において高度で専門的な技術者として認められる者に学位を授与する。

- ・ 電気電子工学分野の基礎的専門知識および技術を持ち、多様な社会に柔軟に対応できる。
- ・ 目標設定とそのための課題解決ができる。
- ・ 先端技術分野を理解し、新技術に対して興味・関心を持ち続ける。

建築学専攻

下記の能力を備え、建築またはインテリアデザイン分野における高度で専門的な知識を社会の変化に柔軟に対応して活用できる者に学位を授与する。

- ・ 建築またはインテリアデザイン分野の先進的な専門知識を、建築生産活動の実践を通して社会に還元できる。
- ・ 建築またはインテリアデザイン分野の先進的な専門知識を、建築生産活動の現場において、さらに発展させることができる。
- ・ 建築またはインテリアデザイン分野の幅広い基礎知識を有し、社会人としての健全な倫理観に基づいて行動できる。
- ・ 建築家、インテリアデザイナー、あるいは建築技術者として社会の諸問題に幅広い関心を持ち、地域社会のみならず国際社会においても活躍できる。

都市環境デザイン学専攻

下記の能力を備え、都市環境デザインの分野において高度で専門的な技術者として認められる者に学位を授与する。

- ・ 実験や調査を計画・遂行してデータを正確に分析、論理的に考察し、それらを整理して発表できる。
- ・ 課題を探究して自主的、継続的に学習でき、与えられた制約の下で解決のための過程を構築できる実践的能力があるとともに、それらのリーダーシップがとれる。
- ・ 学際的な視点に立って、安全で快適な都市環境、とりわけ持続的発展可能な社会基盤の整備、またはにおい・かおりを考慮した快適な住環境の整備に必要となる工学的手法を修得している。
- ・ 倫理観に根ざした責任感を持ち、社会に貢献したいという高い意欲を有している。

(2) 工学研究科博士後期課程

材料・環境工学専攻

下記の能力を備え、材料及び環境工学の分野において、社会で幅広く柔軟に活躍できる高度な技術者として認められる者に学位を授与する。

- ・ 基盤的・先端的な専門知識を有し、材料・環境システムを総合的に考え、設計・製作・評価・管理することができる。
- ・ 先端技術や新技術に対して、他分野の技術者・科学者と協働して取り組むことができる。
- ・ グローバルな視点から物事を考え、協調性と高い倫理観をもって自ら行動することができる。

(3) 情報学研究科修士課程

情報学専攻

下記の能力を備え、専門分野において高度で専門的な情報システム技術者として認められる者、情報コンテンツに対する社会的要請に応えることができる者、または経営と情報の視点から様々な問題の解決に当たることができる者に学位を授与する。

- ・ 情報システムにおけるコンピュータとネットワークの基本原則と先進技術を理解し、情報システムを開発・運用することができる。
- ・ コンピュータを駆使して、情報コンテンツの制作、製品のデザイン、情報戦略の企画を行なうことができる。
- ・ 経営分野や情報分野の専門的な知識を持ち、社会や経済・経営における様々な問題に対して、現実的な解決方法に結び付けることができる。